



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

2019年9月5日に発生し千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号、2019年10月6日に発生し関東地方や甲信地方、東北地方などに記録的豪雨で甚大な被害をもたらした台風19号、そして2019年10月25日からの大雨は、みなさんの記憶にまだ、新しいのではないのでしょうか？みなさんは、これらの災害を報じるニュースと共に『災害ボランティア』という言葉を目にしませんでしたか？今回は、この『災害ボランティア』について紹介します。

『災害ボランティア』とは、地震や水害、火山噴火などの災害発生時から復興に至るまで、被災地のために、復旧や復興のお手伝いをするボランティアのことです。

日本で最初の『災害ボランティア』は、古い記録から1923年（大正12年）9月1日の関東大震災の際、当時の東京帝国大学の学生が、上野公園内に仮設トイレを設置したりなどして、被災者の救援にあたったこととされています。ちなみにこの時、公園管理者側と帝大生が押し問答になったという逸話があります。

もちろん日本では、関東大震災以前にも、たくさんの災害が発生し、たくさんの被害が出ています。ですから、災害ボランティアの歴史は、もっともっと古くからあったのかもしれないね。

災害ボランティアの活動内容

- 避難生活のお手伝い
- 炊き出し
- 洗濯
- 救援物資の仕分け、配送
- 救護所での医療、看護
- 被災者の話し相手
- 子供のあそび相手
- 翻訳、通訳
- 被災者の活力を取り戻すための交流の機会づくり
- 泥かき
- 瓦礫の撤去作業
- 地域の清掃
- 被災した写真の洗浄
- 家屋の保全
- 建物の応急
- 建物の応急危険度判定
- 雪かき
- ペットの世話
- その他

被災地には、全国から数多くのボランティアが集結します。何の準備もせずに、災害ボランティアとして参加すると、かえって被災地に迷惑をかけることになります。



交通費や食費、滞在費などのお金、水や食糧、装備など、自分が使うモノや自分が必要なモノは、自分でしっかり準備し、持って行きましょう。

また、出発前には必ず、現地の情報や心構えなどを予習・再確認しましょう。

ボランティアに参加する際の服装

土砂撤去・運び出し、ガレキ撤去など



災害ボランティアとして必要な持ち物の例



災害ボランティアは、被災地をサポートする存在です！

- 被災者への心配りを忘れては、いけません。
- 不用意な発言や自分の経験による判断を、押し付けてはいけません。
- 被災者の気持ちや立場に配慮した支援を、心がけましょう。

災害ボランティア活動への参加を検討される際には、必ず先に、各地の災害ボランティアセンターなどのホームページなどで最新の状況をご確認ください。事前受付・登録が必要な場合や現地での活動に参加できない場合があります。また、活動の際には『ボランティア活動保険』への加入を、おすすめします。

詳しくは、総務課 防災係まで。